

ミネルヴァ・ホールディングス株式会社

IR REPORT

第10期 報告書

2009年2月1日～2010年1月31日



企業体質を強化し、 更なる成長を目指す



株主・投資家の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ミネルヴァ・ホールディングスグループの当期の連結業績は、売上高が67億6千6百万円(前期比23.2%増)と順調に推移した一方で、競争激化に伴う利益率の低下から、営業利益は2千9百万円(同79.3%減)にとどまりました。
Eコマース市場ではデフレの影響から商品価格の下落が続いており、収益の圧迫要因となりつつあります。当社グループは、本社移転や組織改革などを通じて企業体質の強化を図り、この困難を乗り越え更なる成長を目指していく所存です。

代表取締役会長兼社長CEO
中島 成浩

PART | 当期の業績

01 売上高は順調に伸びるも 利益率が低下

当社グループが属するEコマース市場では現在、市場規模が拡大する一方で、価格競争が激化しています。競争に付き合えば利益率が落ち込み、逆らえば客離れが起こるという難しい状況です。

このような中ではありますが、当社グループのEコマース事業

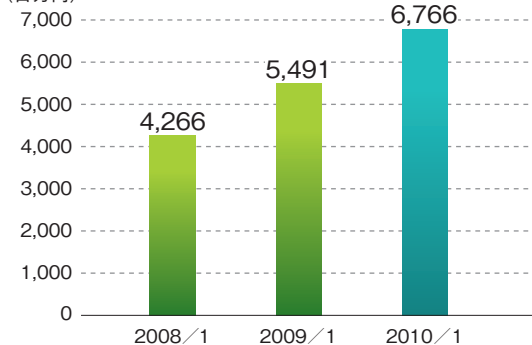
は当期、順調に売上高を伸ばし、2ケタ成長を維持しました。各サイトでテリトリー内の主力ジャンルを丁寧に整備し、品揃えの充実等に取り組んできた成果です。主力の「アウトドア&フィッシング ナチュラム」では、当期から始めた釣具などのPB(プライベート・ブランド)が順調に立ち上がり、またフランスからのアウトドア用品の輸入販売も好調でした。

また、「健康計画」は、売上高が前期比で約73%増となり、年間の売上高を10億円の大台に乗せました。「ナチュラム」で培ったノウハウを忠実に移植してきたことが実を結んだ格好です。「オタクの電腦街」も、特に大人向けの鉄道関連商品が人気を集め、3千8百万円から3億5千3百万円へと急速な成長を遂げることができました。

一方、Eコマースビジネス支援を手掛けるECソリューション事業では、システムASPサービスの低価格競争が激しさを増したことから減益となりました。しかしながら、この状況を打開するため、ASPサービスの提供によって収益を確保するビジネスモデルから、物流代行やオペレーション受託業務のソリューションを併せて提供する包括的支援サービスに移行を進めており、他社との差別化を図り競争力を高めております。

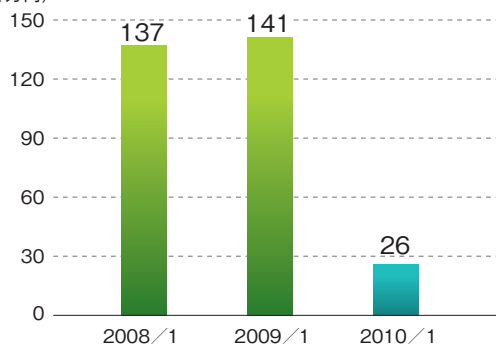
○売上高

(百万円)



○経常利益

(百万円)



※2008/1の数値は、旧(株)ナチュラムの個別業績です。



現地法人の新社屋

また、当社中国子会社(成都音和娜網絡服務有限公司)で入力処理などを代行する「BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)」はEコマースに特化している点において類似する競合他社がなく、非常に好評を得ております。現地法人の規模も期初の40人から130人に増員し、それに伴いオフィスの移転も行い、順調に拡大し、現在はEコマース支援にとどまらず、ウェブ制作や経理関係などあらゆる作業に関する業務受託を開始しており、翌期への期待は更に大きいものになると確信しております。

このように、利益面では減益を余儀なくされたものの、グループ全体で見れば、売上高は前期比23.2%増の成長を遂げることができました。減益となった主な理由は、Eコマース事業で商品価格が下落し、取扱量が増える一方で売上総利益額が横ばいとなった結果、商品一つ当たりの物流費が上がってしまったためです。デフレ傾向は当面の間続くものと思われ、当社グループとしても対応策を講じる必要があります。

PART | 企業体質の強化について

02 本社・物流移転で物流機能のテコ入れを

この問題を解決するため、当社グループはこのほど、物流会社・ワールド・ロジ株式会社と物流業務提携を行いました。連結子会社であるジェネシス・イーシー株式会社が運営するEコマースサイトなどの物流機能を今年1月より、従来の静岡県施設から、同社が大阪南港地区に保有する大規模物流施設



物流業務提携先であるワールド・ロジ株式会社の物流センター
日曜日出荷をスタートさせるなど、物流面でのサービス向上を図っております。



「グリーンキューブ」に全面移管し、更に当社グループ全体も5月初旬をもって、同センターの5階にあるオフィススペースに移転することとしました。

その最大の目的は、物流機能と本社機能の接近による、物流業務全般の“カイゼン”の加速です。物流費は当社の販管費の中でも最大の項目で、その効率性はネット通販ビジネスの競争力に直結します。しかし、物流の“カイゼン”は一朝一夕にはできません。作業員が商品を運ぶ際の歩数を計測しては数歩ずつ減らしていくといった、地道な取り組みの積み重ねが必要です。その、“カイゼン”を積み重ねていくためには、物流現場の可視化、つまり当社グループの人間が物流現場のすぐそばにいないといけないのです。

現在、当社グループにおける販管費に占める物流費の割合はおおよそ9%。根気よく“カイゼン”に取り組むことで、これを可能な限り低減したいと思います。

一方では、人事制度の変更を通じた組織改革にも取り組み始めました。その中心となるのが「チーム制」の導入です。ほぼ全ての社員を平均3~5人のチームにまとめ、従来各個人を対象に設定していた業務目標をチームに課するもので、達成責任はチームリーダーが負います。各社員は、チーム目標達成への貢献度によって評価される仕組みです。

当社グループの規模の拡大に伴い、社員数が増えるにつれ業務が個人単位に細分化し、最近では組織における自分の立ち位置が見えにくくなっていました。「チーム制」はこのような問題を解決し、社員の目的意識を高め、成長しようとしている人を支援するためのものです。

各チームの目標は、必ず「Eコマースを通じて、人々が心の豊かさを実現するための良きパートナーとなる」という当社の企業

理念に、何らかの形でリンクしています。チーム制を実行することにより企業理念の実現に貢献し、それが社員の働き甲斐につながればと思います。

PART | 来期に向けて

03 コスト管理と組織体制を徹底強化

来期には、Eコマース市場の成長は続くものの、競争は加速し、勝ち負けの差も広がってくるでしょう。そのような中で勝ち抜くためには、同業他社にない強みが必要です。まずは物流の“カイゼン”と組織改革を進め、近く一定の成果を挙げたいと思います。

また、平成22年2月1日をもって新設分割した製造卸子会社・プリミティ・インターナショナル株式会社を通じ、PB(プライベート・ブランド)商品や海外商品の供給を増やすことで、利益率の向上を図る構えです。

同時にビジネスモデルの転換を図るECソリューション事業は、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)をはじめとしたソリューションビジネスの売上拡大に取り組んでまいります。

これらの取り組みを通じ、来期には連結売上高78億4千2百万円、当期純利益8千8百万円を達成したいと思います。皆さまには、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



Eコマース事業

増収ながらも消費低迷で利益率が低下

Eコマース(インターネット通信販売)事業の売上高は、65億2千9百万円となりました。

当期には、市場シェア獲得を目指して集客ツールであるブログのリニューアルやセールを実施したことなどにより、当初の見込みを上回る増収を確保できました。

しかし、個人消費の低迷や低単価商品へのシフトなどにより利益率が低下し、比較的利益率の高い海外インポートブランド商品の取扱いやPB(プライベート・ブランド)商品の企画・製造・販売の展開により挽回を図りましたが、いずれも開始したばかりであることから売上全体に占める割合が小さく、利益への貢献度は限定的でした。その結果、利益面では減収に転じました。

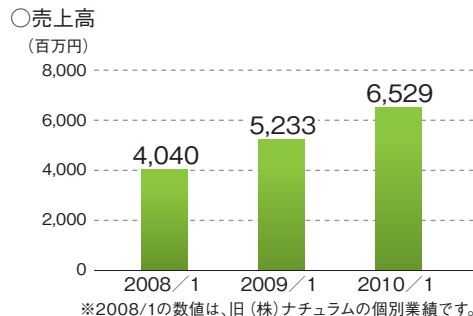
ナチュラム



健康計画



オタクの電腦街

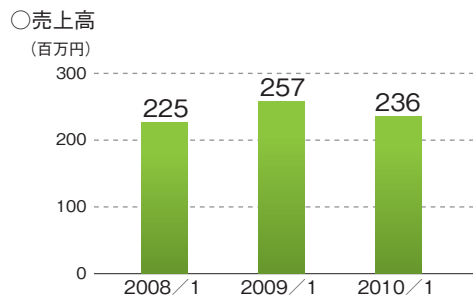


ECソリューション事業

関東エリア開拓を目指し東京オフィスを拡張移転

ECソリューション事業の売上高は2億3千6百万円となりました。

当期には、各種サービスのプラットフォームとなるオンラインショップ統合管理システム「Genesis-EC」に人・物・資金の多くを投入し、機能追加及び利便性の強化に努める一方、関東エリアでの営業活動の強化とサポート体制の充実を目指し、東京オフィスを平成22年2月1日より渋谷区渋谷に拡張移転しました。また、中国子会社(成都音和娜網絡服務有限公司)を介した業務処理のオフショア化を手掛けるBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業が、Eコマース事業者様の多くから高評価を獲得、契約数を増やすことができました。



連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度末 (2010年1月31日現在)	前連結会計年度末 (2009年1月31日現在)
資産の部		
流動資産	1,324,529	1,208,027
固定資産	276,982	199,681
有形固定資産	53,474	34,184
無形固定資産	150,203	76,314
投資その他の資産	73,303	89,182
資産合計	1,601,511	1,407,709
負債の部		
流動負債	603,399	463,457
固定負債	54,658	—
負債合計	658,058	463,457
純資産の部		
株主資本	928,753	944,251
資本金	602,737	602,737
資本剰余金	157,490	157,490
利益剰余金	288,364	282,701
自己株式	△119,838	△ 98,677
評価・換算差額等	1,097	—
為替換算調整勘定	1,097	—
少数株主持分	13,602	—
純資産合計	943,453	944,251
負債純資産合計	1,601,511	1,407,709

連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (自 2009年 2月 1日 至 2010年 1月 31日)	前連結会計年度 (自 2008年 2月 1日 至 2009年 1月 31日)
売上高	6,766,054	5,491,450
売上原価	4,961,230	3,972,525
売上総利益	1,804,823	1,518,924
販売費及び一般管理費	1,775,783	1,378,954
営業利益	29,039	139,970
営業外収益	1,822	3,162
営業外費用	4,216	1,753
経常利益	26,645	141,380
特別利益	79	28,855
特別損失	18,901	26,170
税金等調整前当期純利益	7,823	144,065
法人税等	4,814	50,725
当期純利益	3,009	93,339

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当連結会計年度 (自 2009年 2月 1日 至 2010年 1月 31日)	前連結会計年度 (自 2008年 2月 1日 至 2009年 1月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△65,983	△ 45,087
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,675	8,622
財務活動によるキャッシュ・フロー	68,949	△ 104,363
現金及び現金同等物の減少額	△55,709	△ 140,828
現金及び現金同等物の期首残高	310,518	451,346
連結の範囲の変更に伴う現金 及び現金同等物の増加額	19,256	—
現金及び現金同等物の期末残高	274,065	310,518

会社概要

2010年1月31日現在

会社名	ミネルヴァ・ホールディングス株式会社
URL	http://www.minerva-hd.com/
代表取締役社長	中島 成浩
資本金	6億273万7,600円
社員数	174名(グループ会社従業員含む)
本社所在地	〒540-0011 大阪市中央区農人橋一丁目1番22号大江ビル10階
事業内容	■Eコマース(インターネット通信販売)事業及び、 情報提供サービス ■Eコマースのための総合ソリューションサービス

役員一覧

2010年4月28日現在

代表取締役会長兼社長CEO	中島 成浩
取締役副社長COO	及川 信宏
取締役副社長CFO	福岡 登
取締役	高橋 要
取締役	山内 智和
常勤監査役	大社 昂
監査役	浅野 弘
監査役	吉永 徳好

株式の状況

2010年1月31日現在

発行可能株式総数	38,668株
発行済株式の総数	11,281株
株主数	1,160名

株主メモ

2010年1月31日現在

事業年度	2月1日から1月31日まで
定時株主総会	4月中
基準日	1月31日
剰余金の配当の基準日	7月31日
1単元の株式数	—
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社

(お知らせ)

住所変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出下さい。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出下さい。

公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。なお、電子公告は、当社のホームページに掲載し、そのアドレスは以下のとおりです。

○ホームページアドレス

<http://www.minerva-hd.com/ir/notice/>

証券コード 3090

株主優待制度について

当社グループのEコマースサイトでご利用いただけるマイルー리지ポイント(1ポイント=1円相当)を年2回、所有株数及び保有期間に応じて贈呈します。株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝を示すとともに、長期保有していただけるインセンティブをご提供しようというものです。(2010年1月31日現在で、6ヶ月以上保有されている株主様には、4月下旬に、優待券の発送を予定しております。)



ミネルヴァ・ホールディングス株式会社

〒540-0011 大阪市中央区農人橋一丁目1番22号大江ビル10階

[2010年5月1日より、下記へ本店移転致します。]

〒559-0032 大阪市住之江区南港南一丁目1番125号グリーンキューブ5階

